

第 97 号 (No.97)

2025 年 6 月 18 日

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

目 次

〈日本学術会議法案に関する緊急声明〉

〈理事会報告（2025 年 3 月 2 日）〉

■審議事項

- I 各種委員会の活動について
- II 第 36 回花園大学大会について
- III 会則変更（代表理事の多選規定）について

■報告事項

- IV 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

日本学術会議法案に関する緊急声明

2025 年 4 月 15 日に日本学術会議から発表された声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて一政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって一」を強く支持します。

2025 年 5 月 2 日

日本カリキュラム学会 理事有志

日本学術会議は、2025 年 4 月 15 日に、声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて一政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって一」を発出しました。この声明は、2025 年 3 月 7 日に閣議決定された日本学術会議法案が、日本学術会議から内閣府に対して確保を求めているナショナルアカデミーの 5 要件（1. 学術的に国を代表する機関としての地位、2. そのための公的資格の付与、3. 国家財政支出による安定した財政基盤、4. 活動面での政府からの独立、5. 会員選考における自主性・独立性）を充足しておらず、日本学術会議の独立性が損なわれるという懸念を表明するものです。日本学術会議では、同日、「同法案の修正を求める」旨の決議も行われています。

私たち日本カリキュラム学会理事有志は、本法案が日本学術会議という組織のみならず、学術研究の自由にとって今後大きな影響を与えることを深く危惧します。

私たちは、日本学術会議による声明と決議を強く支持し、日本学術会議法案が、日本学術会議「より良い役割発揮のための制度的条件」（2024 年 6 月 7 日）で示された 5 要件をすべて充足したものになるよう修正されることを要求いたします。

賛同者（日本カリキュラム学会理事有志、五十音順）

石井英真
奥村好美
川地亜弥子
金馬国晴
草原和博
倉本哲男
黒田友紀
子安潤

澤田稔
高橋亜希子
竹川慎哉
中野和光
西岡加名恵
二宮衆一
藤本和久
富士原紀絵

松下佳代
的場正美
森久佳
吉田成章

理事会報告（2025 年 3 月 2 日）

出席者：石井理事、石田理事、磯田理事、上地理事、上野理事、小柳理事、奥村理事、川口理事、木原理事、金馬理事、草原理事、倉本理事、子安理事、澤田理事、柴田理事、高橋理事、田村理事、中野理事、西岡理事、二宮理事、樋口理事、藤本理事、松下代表理事、的場理事、村川理事、森理事、吉田理事、香川大学附属高松小学校、木村裕会員（花園大学）、藤井浩史会員（花園大学）（計 30 名）
事務局：竹川事務局長・理事、富士原理事、次橋幹事（計 3 名）

定例理事会が、2025 年 3 月 2 日（日）9 時 30 分から 12 時 00 分まで、Zoom を用いたウェブ会議形式で開催された。33 名（うち理事 30 名、事務局 3 名※2 名は理事をかねる、2025 年度大会開催校より 2 名）の参加があった。

審議に先立ち、松下代表理事より、開会の挨拶が述べられた。

■ 審議事項

I 各種委員会の活動について

1. 学会賞委員会

磯田委員長より、資料に基づき、各賞についての報告と確認行われた。まず、優秀発表賞について、2024 年度の審査過程の報告とともに、2025 年度の審査にあたるのは常任理事のうち利益相反とされる者以外に依頼するという方針の確認がなされた。次に、研究奨励賞について、審査過程が説明され、審査の結果としての最終候補者（木村優「高校における探究型カリキュラムの実践による教師・学校の成長発展メカニズム」）が報告され、理事会での承認を受けた。

また、共著論文の取り扱いについて、とくに第一著者のエフォートについては審査委員会が候補者に第二段投票の前に確認するという方向性が確認された。本件について、委員会で規程細則を検討し、改めて提案することとなった。利益相反関係の取り扱いに関しては、改正された規程細則が提案され、承認された。

最後に、優秀発表賞・研究奨励賞の受賞者への伝達方法について議論が行われ、今後はそれぞれ 11 月及び 3 月の理事会で承認後、伝達するということが確認された。授与通知は代表理事名で学会事務局から送ること、受賞日付は賞状を渡す総会日とすることも確認された。

2. 紀要編集委員会

澤田委員長より、資料に基づいて、委員会の開催状況、投稿論文の査読体制・スケジュール・結果等について報告が行われた。とくに、審査の過程においては、再査読の依頼時に人為的なミ

スにより大幅な依頼の遅れがあったことのお詫びがあった。投稿論文については 20 本のうち、再査読 5 本、最終的に 3 本の採択が決定されたことが報告された。

松下代表理事より、再査読結果（互いの査読コメント）と最終的な採否判定が査読者に伝わらないことの改善の要望が述べられ、澤田委員長より来年度から伝える方向で検討しているとの回答があった。

3. 国際交流委員会

倉本委員長より、資料に基づいて、2 件の報告と 1 件の審議事項の確認が行われた。

まず、アムステルダム自由大学の Sarah Seleznyov 氏に「海外カリキュラム研究情報」の論考を寄稿していただいたことが報告された。次に、2025 年 3 月 8 日、教育関連学会連絡協議会において日本カリキュラム学会として発表をする機会を得たことが報告された。

2025 年度大会の課題研究Ⅳ「教育の思想と実践をつなぐカリキュラム研究の国際的展開」の提案者とそれぞれの内容案、コーディネーター・司会者が提案され、審議のうえ承認された。

4. 研究委員会

上地委員長より、資料に基づいて、3 月 1 日実施の第 15 回研究集会の報告と、2025 年度全国大会の課題研究Ⅰ・Ⅲの提案が行われた。

課題研究Ⅰは昨年度に続けて「多様な学びと学校の課題Ⅱ」、課題研究Ⅲは「人口減少社会の学校カリキュラムはどのように変わるのか？」とされ、それぞれの報告者と内容案、コーディネーター・司会者について提案が行われ、承認された。なお、課題研究Ⅰについては、松下代表理事よりサブタイトルをつけてほしいとの要望があった

課題研究のタイムスケジュールについて、若手育成委員会、国際交流委員会とも調整を行い、初日午前中に、課題研究Ⅰ（研究委員会：多様な学び）、Ⅱ（広報・若手育成委員会）。2 日目午後、Ⅲ（研究委員会：人口減少社会）、Ⅳ（国際交流委員会）を行うことが確認された。

5. 広報・若手育成委員会

西岡委員より、資料に基づいて、「秋のセミナー2024」、「第 4 回若手育成セミナー」の報告が行われた。また、全国大会の課題研究についての提案が行われ、承認された。

2025 年 2 月 22 日に行われた「第 4 回若手育成セミナー」が盛会で、海外研究を志す若手にとっては大変有意義なものとなり、会員限定で動画を公開できないかとの要望があったが、公開を前提に行ったものではないことなどから、今回はスライドの公開にとどめ、公開は次年度セミナー以降の課題にすることとした。

また、2025 年度大会の課題研究Ⅱ「教育行政とカリキュラム」の提案者と指定討論者、司会者が提案され、審議のうえ承認された。

II 第36回花園大学大会について

磯田大会実行委員長および藤井事務局長より、資料に基づいて、託児室や申し込みスケジュール設定など準備状況の報告が行われた。とくに宿泊予約の困難が予想されることについては注意が促された。続いて木村副委員長より、シンポジウム「ESD（持続可能な開発のための教育）を問い直す」の司会者・シンポジストの提案が行われた。

III 会則変更（代表理事の多選規程）について

竹川事務局長より、代表理事の任期を通算で最長2期までとすることについて、資料の通り会則の改定案が提示され、説明が行われた。本理事会での承認を受けて、次回総会（2025年6月22日）での最終承認を受けることになった。

■ 報告事項

IV 事務局報告

竹川事務局長より、資料に基づいて、会員現況報告、会費納入率、入退会の状況、寄贈図書等一覧、会計途中報告、第37回大会（2026年度）の大会校について報告が行われた。

事務局からのお知らせ

1. 会員現況概要（2025年2月16日時点）

■ 会員総数 707 名（一般会員 617 名、学生会員 84 名、団体会員 6 名）

※連絡先不明者 4 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 24 名を含む。

（2023 年度 706 名、2022 年度：701 名、2021 年度：712 名）

■ 会費納入率（2025年2月16日時点）

2024 年度：完納 614 名 未納 93 名 計 707 名 86.8%（切り捨て）

※連絡先不明者 4 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 24 名を含む。

（2023 年度：89.0%、2022 年度：92.1%、2021 年度：96.7%）

■新規入会者（2024 年 10 月 25 日～2025 年 2 月 16 日） 6 名

	入会年月日	氏名	所属	会員種別	推薦者
1	2024/10/25	赤間 幸人	北海道教育大学	正会員	石井 英真
2	2024/11/06	清久 利和	たつの市立小宅小学校	正会員	吉富 芳正
3	2024/11/15	高瀬 裕人	琉球大学	正会員	服部 太
4	2024/12/23	龐 宇洋	東洋大学大学院	学生会員	桂 直美
5	2025/01/22	大辻 永	東洋大学	正会員	事務局
6	2025/02/05	竹内 陽介	広島大学大学院	学生会員	南浦 涼介

■退会者（2024 年 10 月 25 日～2025 年 2 月 16 日） 4 名

	退会日	氏名	所属	会員種別
1	2024/11/11	宇佐美 博子	聖徳大学	正会員
2	2024/11/11	森茂 岳雄	中央大学	正会員
3	2024/12/06	浅沼 茂	放送大学	正会員
4	2025/02/03	加藤 潤	愛知大学	正会員

長年、本学会の理事を長年つとめてくださった浅沼茂会員が、昨年 12 月にご逝去されました。これまでの本学会への寄与に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。

2. 寄贈図書一覧（(2024 年 11 月 1 日～2025 年 2 月 28 日到着分)）

著者名	タイトル	出版社	発行日	受領日
東京大学法学部 「現代と法」委員会編	いま、法学を知りたい君へ：世界を ひろげる 13 講	有斐閣	2024/9/10	2024/10/7
澤田俊也	授業スタンダード：その展開と教師 の反応	人言洞	2024/10/10	2024/10/28
園山大祐	海外の教育のしくみをのぞいて みよう：日本、ブラジル、スウェー デン、イギリス、ドイツ、フランス	明石書店	2024/12/13	2024/12/2
ジョン・E・マクペック (著)，渡部 竜也 (訳)	批判的思考と教育：還元主義学力 論批判	春風社	2024/12/30	2025/1/22
エヴァルト・テアハル ト (著)，松田 充・宮 本 勇一・熊井将太 (訳)	教授学への招待：教えることと学ぶ ことの科学的探究	春風社	2024/12/8	2025/1/22

吉田剛・永田成文・阪上弘彬 編著	幼小中高一貫地理教育カリキュラムスタンダード:近未来社会をつくる市民性の育成	古今書院	2025/2/6	2025/1/22
松下佳代	測りすぎの時代の学習評価論	勁草書房	2025/1/20	2025/2/10

3. 会計途中報告

日本カリキュラム学会
第35回大会年度（2024年度）中間報告書
（2024年4月1日～2025年1月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	実績（円）
学会年会費	5,000,000	4,807,000
入会金	80,000	98,000
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	31,776
第35回大会収入	1,000,000	1,902,500
前年度繰越金	11,553,853	11,553,853
合計	17,663,853	18,393,129

当期収入

6,839,276

支出の部

項目	予算額（円）	実績（円）
第35回大会支出	2,000,000	2,662,174
第33号紀要刊行費（含む発送費、J-STAGE掲載経費）	700,000	782,558
学会賞費（研究奨励賞および優秀発表賞）	110,000	110,000
会合費（交通費他）	300,000	46,110
事務局経費	150,000	173,487
事務局外部委託費	2,000,000	1,418,116
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	1,720
国際交流委員会	100,000	61,254
研究委員会	300,000	117,762
広報・若手育成委員会	300,000	22,274
学会賞委員会	100,000	0
（小計）	900,000	203,010
学会ホームページ リニューアル	300,000	328,130
電子投稿システムの運用経費	350,000	136,400
電子投稿システムの機能追加	150,000	52,250
40周年記念事業準備費	500,000	0
予備費	200,000	0
次年度繰越金	9,943,853	12,420,894
合計	17,663,853	18,393,129

当期支出

5,972,235

当期収支差額

867,041

4. 令和7年度（2025年度）分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願い申し上げます。納入促進に、会員のみならず皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。また、前年度（2024年度）分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）ガリレオ・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円）

5. 会員情報更新のお願い

学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いします。学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開していただきますようお願いいたします。

また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします（こちらは学会ホームページの「マイページ」の変更と併せて学会事務局までご連絡ください。

【入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

（株）ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852 ※電話受付 平日 11:00～16:00

E-mail : g050jscs-support@ml.gakkai.ne.jp

【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】

〒448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 竹川慎哉気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscsstaff@gmail.com

※2022年4月1日をもちまして、学会事務局のメールアドレスを変更いたしました。

【学会ホームページ】

<https://jscs-info.jp/>

※2024年4月10日に学会ホームページのドメイン（URL）を移転しました。